

桜開花の便りが聞かれ日差しにも力強さを感じる頃となりました。木々の新芽や花芽のふくらみに勢いを感じます。子ども達の成長を重ねてみる時、本協議会事業の活動が、暖風のひとつにでもなればと願い活動してきました。1年間ご協力ありがとうございました。



平成 27 年度 協議会 総会

平成 28 年 3 月 5 日(土)16:00~17:30 に、青少年センター館長室において理事会を開催し、平成 28 年 3 月 11 日(金)14:00~15:15 に、青少年センター研修室で、平成 27 年度の総会が開かれました。青少年センター福地副館長による会長挨拶(代理)の後、映像を使って平成 27 年度の事業報告、会計・監査報告、平成 28・29 年度理事の紹介が報告され、平成 28 年度の事業案、予算案について協議しました。子どもサイエンスフェスティバルでは外部助成金を引き続き活用することも決まりました。

総会の後は、株式会社KSPの栗田秀臣様より、「夢を現実に。アイデアをビジネスプランにする方法」の演題で講演をしていただきました。高校生 1 名や一般の方を交えて、お話を聞きました。発想や着眼点を変えて自分の勝負できる場所を探すことでビジネスになる、子ども達にはできるだけ多くの経験と挑戦をさせることが大切であるなど、青少年の科学体験活動を推進してゆく上で、エールをいただいた講演でした。

その後、1階のレストランメルヘンで懇親会を持ちました。会員の皆様で情報を交換されたり、幼少期の科学体験の思い出も話題にのぼりました。

★平成 28・29 年度 神奈川県青少年科学体験活動推進協議会役員 (敬称略)

役職	会 員 名	役 員 名 (職 : 氏名)
会長	神奈川県立青少年センター	館長：薄井 英男
副会長	東芝未来科学館	館長：岩切 貴乃
副会長	神奈川工科大学	企画入学担当部長：石田 裕昭
理事	おもしろ科学たんけん工房	代表理事：安田 光一
理事	神奈川県環境科学センター	所長：塩谷 映雄
理事	神奈川県公立中学校教育研究会理科部会	理科部会会長：鬼丸 勉
理事	神奈川県政策局政策部科学技術・大学連携課	課長：早川 剛弘
理事	株式会社学研ホールディングス 学研教育総合研究所	顧問：安威 誠
理事	株式会社テレビ神奈川	取締役報道担当：岩田 悦子
理事	横浜市立野毛山動物園	園長：鈴木 浩

※ 人事異動や組織変更、職名変更等があった場合は、後任等を推薦いただき、理事会の承認を経て変更する場合があります。



★平成 28 年度 事業計画

① 神奈川県青少年科学体験活動推進協議会会議

理事会平成 29 年 3 月 3 日(金) 総会・研修会(科学講演会)平成 29 年 3 月 10 日(金)

② 子ども科学探検隊 開講式 平成 28 年 5 月 22 日(日)

Aコース：	Bコース：	Cコース：	特別コース：
三菱みなとみらい技術館	三菱みなとみらい技術館	日本郵船氷川丸	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 JAXA
よこはま動物園ズーラシア	野毛山動物園	はまぎんこども宇宙科学館	
中央水産研究所館	東芝未来科学館	関東学院大学	
桐蔭横浜大学	青山学院大学	神奈川県環境科学センター	ABCのどのコースからも参加可能
伊勢原市立子ども科学館	海洋研究開発機構	産業能率大学	
県立生命の星地球博物館	日本大学生物資源科学部	金沢動物園	

③ 中高生サイエンスキャリアプログラム 開講式 平成 28 年 7 月 16 日(土)

サイエンスフェア(新都市ホール)、湘南工科大学、東芝未来科学館、青山学院大学理工学部、関東学院大学理工学部、水産研究・教育機構中央水産研究所、横須賀市自然・人文博物館、三菱みなとみらい技術館、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所、県立産業技術短期大学校、桐蔭横浜大学、東京工芸大学、日本大学生物資源科学部、東海大学工学部 (予定)

※ 希望により選択して参加します

④ 青少年のためのロボフェスタ 2016

平成 28 年 11 月 19 日(土)・20 日(日) 神奈川県立神奈川総合産業高等学校

⑤ 青少年のための科学の祭典 2016 神奈川大会

平成 28 年 8 月 7 日(日) 県立青少年センター

⑥ 子どもサイエンスフェスティバル (県内4地区で開催)

平成 28 年 12 月 17 日(土) 逗子大会 逗子市体験学習施設スマイル
 平成 29 年 1 月 14 日(土) 相模原大会 相模原市立青少年学習センター
 平成 29 年 2 月 11 日(土・祝) 藤沢大会 県立総合教育センター
 平成 29 年 2 月 25 日(土) 秦野大会 秦野市はだのこども館

※ 相模原大会の日程が運営上の都合により、総会後に変更となりました。申し訳ありません。

青少年センター事業の中から、子どもたちの科学体験活動を報告します

子ども科学講座

静電気のふしぎ

2月27日(土) 小学3～6年 科学体験室

発生する素材の組み合わせやひきつける物など、実験を通して静電気の性質を学びました。静電気で動くおもちゃや蛍光灯をバンデグラフ装置で試し、ポリプロピレンの静電気宇宙人にも挑戦しました。



ものづくり体験教室

クリスマスキャンドルを作ろう

12月12日(土) 小学生 科学体験室

高校生ボランティアによる「ろうそくの説明と実験」を見せてもらいました。着色したろうそを一度溶かし、固まるのを待って型を抜きました。重ねて組み合わせ、デコレーションも上手にできました。



移動科学教室 三浦・清川

県内 8ヶ所で開催してきた「移動科学教室」ですが、この 2ヶ所ですべて完了しました。

実験ショー

「空気と水の力」「燃焼と爆発」を実施しました。ちょっとした驚きから、「なんで？」が生まれ、科学する心につながります。

11月29日(日)13:30～15:30	12月13日(日) 13:30～15:30
小学生55名 (見学：保護者37名、幼児8名)	小学生30名 (見学：保護者19名、幼児3名)
三浦市初声市民センター	清川村生涯学習センターせせらぎ館

科学工作・ものづくり

「葉脈標本、ビー玉万華鏡、マジックウォール、ふうふうこま、おどるヘビ、レインボースコープ、ゴムロケット」等を行ないました。実験の切り替え時には、施設の方や青少年指導員さんによる工作もありました。できるだけ自分の手を使う経験が、たくさんの宝となります。



主催型の移動科学教室は、年度ごとに開催場所を変えて、県内 8ヶ所で実施しています。施設の規模にもよりますが、できるだけ多くの子ども達に科学体験を届けたいものです。この他に「依頼型」でも移動科学教室を行っています。

自然観察会



★ 春の「江ノ島を学ぼう！」に続き、「魚とりをしよう!」「七沢の自然!」「野鳥かんさつ!」を実施しました。地域で自然環境を守るために活躍されている方々からお話を聞くことで、普段自分で見ているよりも、観察が深まります。

魚とりをしよう!	七沢の自然!	野鳥かんさつ!
9月6日(日)、33名参加 鶴見川流域センター周辺 指導員4名、スタッフ10名	12月6日(日)、3家族8名参加 県立自然環境保全センター周辺 指導員2名、スタッフ7名	3月6日(日)、3家族6名参加 鶴見川流域センター周辺 指導員2名、スタッフ4名
鶴見川多目的遊水地の散策後、天気と川の状況を確認し、ライフジャケットを着て、亀の甲橋の付近から、特別に許可を得て、魚とりを行ないました。水槽で観察して詳しく学ぶことができました。センターの機能や水マスタープランについても学び、施設も見学しました。	自然環境保全センター内にある鳥獣保護センターで野生生物の保護について学んだあと、自然観察園の樹木園を散策しながら、さまざまな樹木の話の聞いたり、クラフトで利用できる材料を拾ったりしました。それを材料にクリスマスリースや飾りを作りました。	双眼鏡の使い方を教わったあと、遊水地で観察しました。空や岸や水面に27種類もの野鳥を見ることができました。参加者が少なかったのは残念ですが天気にも恵まれ、楽しく野鳥観察ができました。遊水地の機能や水マスタープランも学ぶことができました。
 	 	 

青少年センター子どもフェスティバル

★ 平成28年1月24日(日)、青少年センター子どもフェスティバルが行なわれ、1,261名の来場者で賑わいました。

★ この事業は青少年センターの指導者育成課、舞台芸術課、青少年サポート課、科学部科学支援課の合同事業であり、「～遊び見つけ隊!～『できた!』がいっぱい。笑顔がキラリ★」をテーマに、各課と協働する団体が集まって、毎年開催しています。



- ★ ステージでは「子ども会団体表彰」や「ジュニアリーダーの活動発表」「キッズダンスショー」「日本の祭り・日本の太鼓」「森の音楽隊」「エイサー」などが行なわれ、館内ではブースとして「津久井くみひものミサンガづくりとあやとり教室」「巨大折り紙に挑戦しよう」「人形づくり・人形劇の体験」「自分だけの貯金箱を作ろう」等々が出展し、たくさんの体験ができました。少しだけ食品の販売もあり、お祭りムードが高まります。



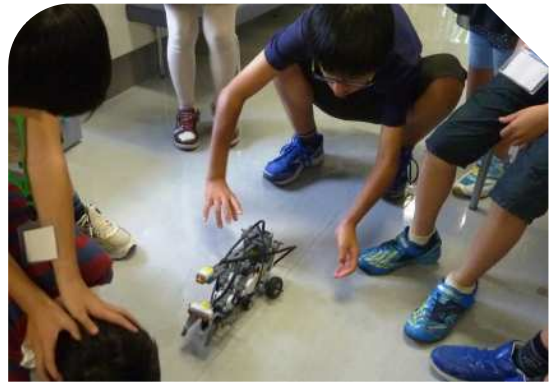
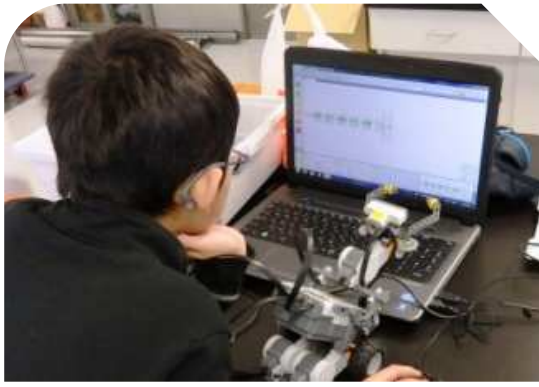
- ★ 科学部としては、高校生のボランティアにも活躍してもらい、ステージでは「巨大空気砲!」、2階のブースでは「プチロボの操縦体験」「ペットボトル空気泡を作ろう」「みつけた!ひろった!生き物のいろいろ」の出展を行ないました。また、今年度の「おもしろ実験・科学工作指導者セミナー」を修了された2名の方が、「燃焼と爆発」「科学とマジック」の実験ショーを行ないました。



ロボットプログラム

- ★ 小学3年生～中学生を対象とした、教育版レゴ® マインドストーム® NXT を使用して、自律型ロボットのプログラミングを学ぶ講座です。コンピュータで指令を組み立て、光センサー等の使い方を学び、ロボットの機構の理解へと進めていきます。
- ★ **初級**では小惑星探査機「はやぶさ2」、**中級**では金星探査機「あかつき」をイメージした課題に挑戦しています。課題解決を目指して試行錯誤を繰り返しながら、ロボットのプログラミングを学んでいます。**上級**では機構を組み込んだオリジナルロボットも制作しました。
- ★ 27年度は年間を通して、初級9講座、中級9講座、上級(2日間)3講座を行ないました。毎回人気で抽選により受講者を決めています。主に青少年センターで開催していますが、県内の工業高校を会場として、高校生にも指導に加わってもらいながら6講座開催しました。
- ★ また、依頼型として行なうこともあり、日系社会次世代育成研修やフリースクールの講座として3講座行いました。





小学校理科教員養成課程学生講座

★ 青少年センター科学部では、現職教員の方向けの研修講座の他、教員を志望する大学生向け講座も行なっています。

★ 平成 28 年 2 月 29 日(月)の「科学講座」、3 月 1 日(火)の「生物講座」は、大学連携講座として鎌倉女子大学様の学生向けに開催しました。



★ 「科学講座」は 33 名が受講し、電磁気分野からモーターの原理を解説し、シンプルクリップモーターを作りました。また、ムラサキモやハーブティーによる酸性・アルカリ性指示薬の実験を行ないました。



★ 「生物講座」は 29 名が受講し、植物の観察と分類や動物の骨のつくりを学び、ニワトリの脚を組み立てて持ち帰りました。またニボシの解剖にも取り組み、消化器官や内臓を取り分けて台紙に整理する作業も行いました。

事務局より

- 会員皆様の登録いただいている情報につきまして、人事異動や組織変更等がありましたら、事務局までご連絡ください。
- ご意見・ご要望等がございましたら事務局までご連絡ください。
問い合わせ先 協議会事務局（県立青少年センター科学部） TEL 045(263)4470
- 平成 27 年度一年間ありがとうございました。事務局より感謝申し上げます。
次年度も引き続き、よろしくお願いいたします。（事務局：平田、烏田、真中、濱崎）

